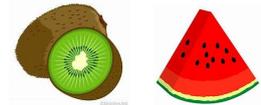




食事で出来る熱中症対策

熱中症を予防するためには、水分補給と栄養バランスの取れた食事が重要です。特に水分を多く含む食材やエネルギー源となる炭水化物を意識して摂取しましょう。



水分補給の重要性

水分を意識的に摂取: 熱中症を防ぐためには、喉が渇く前にこまめに水分を補給することが大切です。特に、スイカやキウイ、オレンジなどの水分が豊富な果物を食べることで、体内の水分を補うことができます。

ノンカフェイン飲料: 水や麦茶などのノンカフェイン飲料が適しています。入浴後や起床後にも水分補給を心がけましょう。

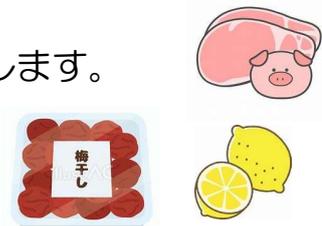


栄養バランスの取れた食事

エネルギー補給: 暑い時期には食欲が落ちることがありますが、炭水化物をしっかり摂ることが重要です。ごはんやそうめんなどを取り入れましょう。

ビタミンB1とC: ビタミンB1は疲労回復に役立ち、ビタミンCは免疫力を高めます。これらは豚肉や豆腐、赤ピーマンなどに多く含まれています。

クエン酸の摂取: クエン酸は疲労を軽減し、食欲を促進します。梅干しやレモンなどから摂取することができます。



食事の工夫

水分を多く含む食材: キュウリやナスなどの水分が豊富な野菜を取り入れ、食事を通じて水分を補給しましょう。



発酵調味料の活用: 塩分を過剰に摂取しないために、味噌や醤油、塩麴などの発酵調味料を使って味付けを工夫することが推奨されます。



これらのポイントを意識して、熱中症を予防するための食事を心がけましょう。特に暑い夏の時期には、体調管理が重要です。